

指定校番号	28109	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立本郷中学校	校長	原 克幸	生徒指導主事	赤松 智樹
-----	-----------	----	------	--------	-------

取組事例名 『本郷中校区クリーン活動』

取組のねらい『キーワード 地域貢献』

- ・奉仕活動を通し、自分たちが住んでいる地域を理解することや感謝の心を育む。
- ・地域の方に気持ちのよい挨拶をし、ゴミ拾いや掃除をすることで、地域の一員であることを再確認する。
- ・ゴミ拾いや掃除をすることで、環境を守ろうとする気持ちや、「できることをしよう」というボランティアの気持ちへの理解を深める。

取組の具体的内容『キーワード 主体的活動』

- ・本郷中学校校区、各地域の公園等の施設に拠点を置き、公園等の施設およびその周辺を清掃する。
- ・生徒の住所をもとに全校生徒を12の縦割り班にし、リーダーと担当教員を決める。
- ・リーダー会を行い、それぞれの班の中で小グループをリーダーが決め、清掃ルートを決める。
- ・前日に各地域で事前ミーティングをし、清掃グループのメンバー・清掃ルートの確認を行う。
- ・当日はリーダーの司会で運営を行う。
- ・ゴミを生徒自身が分別する。

取組の課題・創意工夫 『キーワード 地域との連携』

- (課題)
- ・道徳の地域公開と同じ日に行うので地域貢献と関連した授業内容ができれば良かった。
 - ・リーダーの中に異学年を入れて取組を行う。
 - ・活動を発表する場面設定。
- (創意工夫)
- ・掃除道具(ひばさみ)を生徒全員分用意し、清掃したことで積極的にゴミを拾うことができた。
 - ・主体的な活動となるよう、班の中で小グループや清掃ルートをリーダーに決めさせた。

取組の成果(効果) 『キーワード 奉仕の心の育成』

- ・地域貢献の意識が高まった。
 - ・地域の方から、お礼のことばを頂いた場所もあり、地域の方とコミュニケーションが図れた。
 - ・道徳地域公開と兼ねて取り組むことができた。
- 【学校評価アンケート結果(全学年)】
- ・誰かのために役立っていると感じるときがある。または、将来、誰かの役に立つことができると思う。
72% (7月実施) ⇒ 76% (12月実施)
 - ・地域の行事やボランティア活動に参加している。
50% (7月実施) ⇒ 62% (12月実施)

以上のアンケート結果から、肯定的評価を上げることができたと言える。また、地域のボランティア活動に自主的に参加する生徒も現れ、学校での活動が生活に生かすことができている。

来年度は、保護者・地域の方と共に活動を行うことにより、より一層生徒の充実した活動になるように取り組んでいく。

今後の展開『キーワード 創意工夫』

- ・生徒の意見を取り入れ、より一層主体的な活動になるようにしていく。
- ・保護者や「本郷中学校を支える会」など地域の方々と連携し、地域協働を意識した活動となるよう工夫する。
- ・地域貢献と関連した授業内容（教材）の開発を研究する。
- ・活動の回数を増やすことを検討する。
- ・小中合同で開催を検討する。
- ・活動の発表の場を設定する。

他校へのアドバイス『キーワード 細かい指導』

- ・事前計画、打ち合わせなど細かい指導を行う。
- ・校外で生徒が頑張っている様子を見てもらうことで、地域の方からの信頼を得る。

活動の様子

